

# 平成30年度 事業報告書

## 特定非営利活動法人東京養育家庭の会

### 1 事業の成果

#### (1) 社会的養護の動きと里親会

平成28年「児童福祉法の改正」から「新しい社会的養育ビジョン」と続き、都道府県の「社会的養育推進計画の策定」までたどり着いた。東京都では児童福祉審議会で審議が始まり、当会からも委員を出すことになった。これまで行政対応プロジェクトチーム（以下PTという）を中心に養育家庭の推進、その一環としてフォスタリング機関については、当会として一年間のチーム養育体制を評価し、施設を中心としたフォスタリング体制を目指し東京都社会福祉協議会内にある乳児部会・児童部会に申し入れを行った。その結果、両部会も前向きな検討が始まっている。

チーム養育の取り組みが始まり、スタートは遅かったが着実に子供と里親専門相談員との交流が歩み出した。効果が上がっているとの声も聞こえてきた。

都においては里親認定基準が改定され、里親拡大の一つの契機になることが期待されている。一方、更新時の家庭訪問のとき、収入や身分を証明する手続が厳正に行われるようになり、一部の里親から戸惑いを感じるとの声もあった。

23区部の児童相談所設置については情報収集に努め、里親としての意見を適時適切に伝え、意見交換の場を持つことができた。児童部会・乳児部会・当会の三者で都知事と特別区長会あてに要望書を2度提出し、広域調整の必要性を強く訴え23区でもその方向が示された。PTを中心に先行3区に加えて、令和3年（2021年）度以降に開設予定の5区に当会の要望書を持参し意見交換してきた。

今年は「教育の保障」の項目を掲げて東京都へ要望をし、育て方の難しい子供の教育への取り組み、高校生問題、措置解除後の現実を訴えた。

里親登録・委託児童数は、関係者の努力で緩やかな増加傾向にあった。しかし、他の自治体に比べて里親登録などの伸びが大きいとは言い切れなかった。

#### (2) 里親会の動き

##### ① 里親と子供たちへの支援の充実

i チーム養育の効果として、里親子の不調にも事前に対応できるようになった。里親から施設へ変更になる件数の減少が認められた。一方、里親専門相談員の配置数のアンバランスなこともあり、地域による格差も報告されている。

ii 里親認定基準の改定は、国の動きと相まって、養子縁組希望者の研修受講者が増えてきた。

iii 養育の難しい子供が増えており、個々の家庭での葛藤が続いている。支援のあり方を含めて里親の養育力に視点を当てて支部サロンや研修を進めてきた。

iv 高校生への経費の問題について、国の予算で通学定期代が別枠扱い、補習費の増額が示された。「自立支援資金貸付制度」の活用については余り進展が見られなかった。

##### ② 情報の共有、普及など

i 東社協の里親制度支援委員会にはオブザーバーとして毎回参加し、当面する課題を共有し施設と里親の連携が太くなってきた。

ii 「NEWS こんにちは」の充実を図り評価を得た。SNSを活用した広報を求める声も出てきた。

##### ③ 受託事業、会の運営など

i 縁組希望者が急増したため、認定前研修を追加して実施した。

ii 事務局体制については年々事務量が増し特に今年度は、23区児相設置問題等が重なり、事務局体制の強化が必要となってきた。

2 事業の実施に関する事項  
 (1) 特定日営利活動に係る事業

(事業の総費用【21,277】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者	人数	事業費(千円)
養育家庭に対する支援事業	①全体会交流会事業・東京都と共催で養育家庭の交流を開催し、子供達同士の交流も進めた	11月13日	井の頭公園	20名	養育家庭	大人 84名 子供 58名	50
	②里親交流事業・前年度に続き、里子を社会へ巣立たせた里親の集いを開催。今年度会場変更をし一貫した交流ができた	3月10日	コンフォート 新宿	5名	養育家庭	7名	54
	③里親促進事業支部活動を助成・支援	6月7日	各支部	2名	養育家庭		566
	④里親相談事業 有識者による養育・その他相談	随時	養育家庭連携室	2名	養育家庭	3家庭	30
	⑤つなぎ資金の運営・里子の進学・就職に必要な資金の一時的立替	随時	養育家庭連携室	2名	養育家庭	2家庭	1
養育家庭で育つ子供への支援事業	①自立支援事業(中学生) ・自立・進学の準備講座を開催	8月16日	文化センター	2名	里親家庭で育つ高校生	3名	33
	②子供支援事業(幼児・学童期) ◎学童期事業(山キャンプ) ・里子・里親専門相談員の数が増加、送迎の方法が課題  ◎幼少期事業 ・初めての事業、好評だった継続する	8月23日 ~25日  2月28日	山中湖林間寮  池袋サンシャユ水族館&展望台	4名  4名	養育家庭で育つ子供	小学生20名 中学生 5名 高校生 2名 幼児 3名 専門相談員 8名  里子9名 里親12名	492,327
	③招待行事 a. サマーキャンプ・デイキャンプの実施。(アサヒ KIDS プロジェクトと共催) b. その他 スポーツ観戦・観劇・音楽鑑賞・スポーツ体験の実施(FC東京、オンワード樫山、各種団体からの招待等)	5月27日  8月4・5日  11月17日	ディ・キャンプ 葛西臨海公園  茨城サマーキャンプ つくば宇宙センター  ギャラクシティ 足立区	2名  2名  2名	養育家庭で育つ子供	小・中学生 10名  小学生 8名  小学生 8名	25

		随時	各種団体の招待による	2名	養育家庭で育つ里親子	約474名		
	④ユース事業の支援 ・夏休み交流事業	8月19・20日	都内	1名	里子・里親家庭を巣立った子供	9名	300	
	①第64回・関東甲信越静里親研究協議会 ・大会に参加 ・大会の代表者会議	7月7日～8日 4月14日 9月8日 1月12日	静岡市 静岡市 横浜市 東京	2名	当会の養育家庭	大人12名 子供1名	76	
	②第62回 全国里親大会 ・大会に参加	11月17日～18日	金沢市	2名	当会の養育家庭	大人11名 子供4名	136	
	③関係機関との交流 ・東社協との連携（全国児童養護施設協議会・東社協児童部会等） ・アン基金・JaFCA・里母の会との交流、他	随時	都内	8名	その都度	その都度	44	
養育家庭に関する普及広報事業	①会報の発行 会独自の会報を発行 ・メンバーの努力で充実した紙面になっている	7月、12月、3月	都内	3名	会員及び関係機関	—	105	
	②広報活動 養育家庭制度及び会の活動を紹介し、広く里親制度を広報するためのホームページ、リーフレットの作成 ・今後SNSの活用も検討	随時	都内	3名	都内全域	—	47	
	③勉強会 里親に対する研修・里親及び里親関係者、一般に対する勉強会の開催	6月3日	オリンピックセンター	3名	会員及び関係機関	60名	30	
その他事業	①その他 ・特別区児童相談所設置に関する意見交換会	随時	都内	7名	関係機関	—	0	
養育家庭に対する教育事業	里親養育向上計画総合プログラク事業							
	①里親研修事業	随時	都内	11名	東京都の里親家庭		13,608	
	②『Tokyo里親net』を、当会と東京都が共同で発行し、登録里親、会員、関係者に配布	毎月1回発行	連携室	6名	東京都の里親家庭	—	994	
	③ホームページの管理	随時	連携室	2名				

④普及啓発活動 都や区市町村と協力し、養 育家庭制度の普及啓発のた めの体験発表等	随時	児童相談 所 都内全域	15名		—	
養育家庭支援事業						
①支援員連絡会・勉強会	年8回	児童相談 センター	2名	養育家庭 支援員	22名	4,924
②養育家庭への支援 各支部に支援員を配置し、 地域の児童相談所と連携し て養育家庭に対する支援活 動を行う。	随時	各児童相 談所	22名	養育家庭 とそこで 暮らし育 つ子供	—	